

平成 30 年 11 月 26 日

各 位

会 社 名 マーチャント・バンカーズ株式会社
代表取締役社長兼 CEO 一 木 茂
(コード 3121 東証 2 部)
問合せ先 取締役 CFO 兼財務経理部長 高 崎 正 年
(TEL 03-5224-4900)

株式会社アーリーワークスとの資本業務提携に関する基本合意のお知らせ

本日、当社子会社である MBK ブロックチェーン株式会社（以下、「MBK ブロックチェーン」という。）と株式会社アーリーワークス（以下、「アーリーワークス」という。）との業務提携並びにマーチャント・バンカーズ株式会社によるアーリーワークスに対する資本参加につきまして、基本合意することを決定いたしましたので、ご報告させていただきます。

アーリーワークスは、2018 年に創業、ブロックチェーン技術の実用性を追求し、自社でブロックチェーンプラットフォーム「BEXAM」を開発しております。「BEXAM」は、従来型のブロックチェーンの欠点である処理のスピードの遅さや、とりわけ、取引が多くなると処理が追いつかなくなるといった問題を解決した、次世代のオリジナルブロックチェーンであり、今後、金融やイーコマースなど、あらゆるデータベースを利用したシステムを「BEXAM」に置き換えていくことを目標として開発されました。

「BEXAM」の大きな特徴はスピードであり、**1 秒間に 4,000 万件**の取引を処理することができます。これは、**ビットコインの 500 万倍以上**（7 件/秒）、**VISA の 700 倍以上**（5 万 6 千件/秒、いずれもアーリーワークス調べ）であり、例えば、自動改札や株式売買などで求められるスピードにも対応することができます。

ブロックチェーンとは、そもそも、中央集権的なサーバーに替えて、分散コンピューティングによりシステムを動かすことのできる技術ではありますが、多くのシステムにとって、そのスピードが導入のネックとなっておりました。しかし、スピードの問題を解決した「BEXAM」は、大きなサーバーに代わり、より安全で安定的にシステムを運用し、サーバーコストを大幅に削減することができます。

MBK ブロックチェーンは、アーリーワークスが開発した国産ブロックチェーン「BEXAM」が、実用的なブロックチェーン技術として社会に広く普及していく可能性に注目いたしましたので、日本国内を中心とした様々な企業への「BEXAM」の導入促進に関する業務提携について、基本合意いたしました。今後、企業や各省庁等が、ブロックチェーンを導入する際の有力な選択肢の 1 社となるよう、支援いたします。また、同時に、当社によるアーリーワークスに対する資本参加につきましても基本合意しており、出資金額、出資比率等、決定次第、ご報告させていただきますが、連結子会社又は持分法適用会社とするものではありません。

アーリーワークスの概要は以下の通りであります。

- | | |
|----------------|--|
| (1) 名 称 | 株式会社アーリーワークス |
| (2) 所 在 地 | 東京都中央区日本橋小伝馬町 6 番 1 号 |
| (3) 代表者の役職・氏名 | 代表取締役 小林 聖 |
| (4) 事 業 内 容 | ブロックチェーン「BEXAM」 |
| (5) 資 本 金 | 2000 万円 |
| (6) 設立年月日 | 2018 年 5 月 1 日 |
| (7) 大株主及び持株比率 | 小林 聖 51%（他大株主につきましては、アーリーワークスの意向により、記載を省略させていただきます。） |
| (8) 当社との関係 | 人的、資本的又は取引関係はありません。 |
| (9) 財政状態及び経営成績 | 設立後、決算期を経ておりません。 |

また、本件につきまして、現段階におきましては、平成 31 年 3 月期以降の業績に与える影響は軽微であると考えており、業績に重要な影響を与える事象が生じましたら、改めて開示させていただきます。

以 上